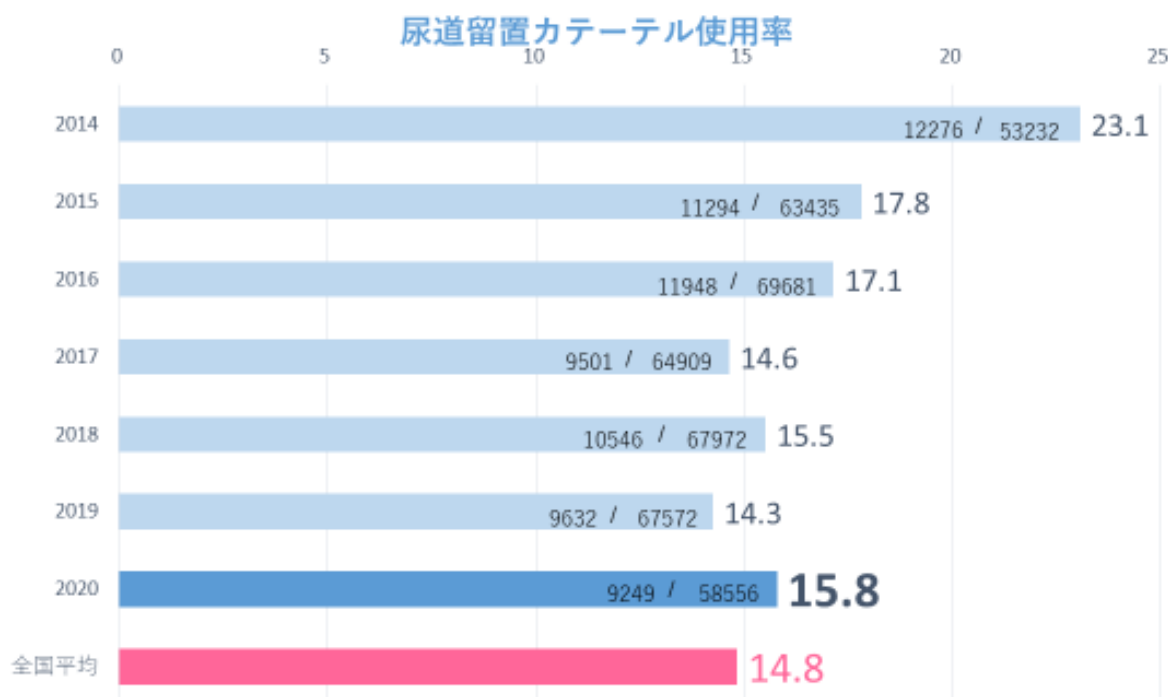


尿道留置カテーテル使用率

医療の質を評価する側面
Process

日本病院会QIプロジェクトデータより



(単位:%)

分子:尿道留置カテーテルが挿入されている患者延べ数(使用日数)
分母:入院患者延べ数(人日)

参考:2019年度 QIプロジェクト 一般病床 351医療機関

尿道留置カテーテル使用率

医療の質を評価する側面
Process

項目の解説

入院患者における膀胱留置カテーテルを使用する患者の割合を示しています。
入院後に起こる尿路感染の約70~80%が膀胱留置カテーテル関連の尿路感染です。留置する期間が長期に及ぶほど尿路感染の確率が上がるため、膀胱留置カテーテルの使用は必要最小限にとどめることが重要です。

2020当院データの分析

尿道留置カテーテル使用率は年々低下していたが、2020年は全体の患者数が減少し、留置している患者の割合は上昇した。

数値改善に向けた今後の取り組み

尿道留置カテーテルの留置の必要性について毎週カンファレンスで検討している。
尿路感染防止のために留置期間を最小限にする取り組みを継続する。